

# 令和5年度健康づくり指導者セミナー（行政コース）報告書

## 1. 概要

### 【目的】

地域における健康づくりの知識と技術を身につけた指導者を養成し、市町村健康増進計画や保健事業等の効果的な評価・策定・運営方法を習得する。

### 【主催】

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団、愛知県

### 【方法】

動画配信サイト（YouTube）を利用した通信型研修

### 【対象者】

- (1) 愛知県内の市町村で保健衛生、高齢福祉、保険年金部門等の業務に携わる担当者と  
その管理職
- (2) 愛知県内の保健所で市町村支援業務に携わる職員
- (3) 愛知県後期高齢者医療広域連合、愛知県国民健康保険団体連合会の職員

### 【受講資格】

- (1) オンラインによる受講環境（端末等）が準備できること
- (2) 本セミナーを全て受講できること

### 【定員】

なし

### 【視聴期間（アンケート回答期間）】

令和5年8月25日（金）午前10時から9月22日（金）午後5時まで  
（令和5年8月25日（金）午前10時から9月23日（土）午前0時まで）

### 【募集期間】

令和5年6月30日（金）午前10時から9月15日（金）午後5時まで

### 【参加費】

無料 ※ただし、通信料は自己負担

【テーマ・カリキュラム】

テーマ

「健康増進計画等の評価・策定や保健事業の展開のために改めてポピュレーションアプローチと連携戦略について考える」

カリキュラム

時間	演題・講師	概要
-	開講・オリエンテーション	
28分18秒	講義 「ポピュレーションアプローチの戦略と評価のあり方」 浜松医科大学 健康社会医学講座 教授 尾島 俊之 氏	生活習慣病対策などに必要とされるポピュレーションアプローチの重要性および目標や評価指標を理解し、関連計画や保健事業の評価・策定を効果的に実施できる。
30分02秒	講義 「システム思考による少子高齢化時代の連携戦略」 名古屋工業大学大学院 社会工学分野 教授 横山 淳一 氏	健康づくりに対応する公的機関の資源は限られている一方、民間企業による健康に関するサービスが増加している。組織の枠を超えた効果的な連携のヒントを学ぶ。
21分56秒	事例紹介 「令和4年度市町村等健康づくり技術支援事業について～高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業開始に向けて～」 北名古屋市 市民健康部国保医療課 保健師 多和田 智子 氏	「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」における関係3課との連携及び、ポピュレーションアプローチを実施する通いの場の基盤整備について報告する。
4分34秒	情報提供 「愛知県からのお知らせ～次期健康増進計画について～」 愛知県保健医療局健康医務部健康対策課 技師 中谷 圭甫 氏	次期健康増進計画の策定スケジュール等について、情報提供する。
-	事務連絡・閉講	

動画は、全体で約 87 分 19 秒。

本年度は3人の講師に講義や事例紹介をしていただきました。

### 講義「ポピュレーションアプローチの戦略と評価のあり方」

浜松医科大学健康社会医学講座 教授 尾島 俊之 氏

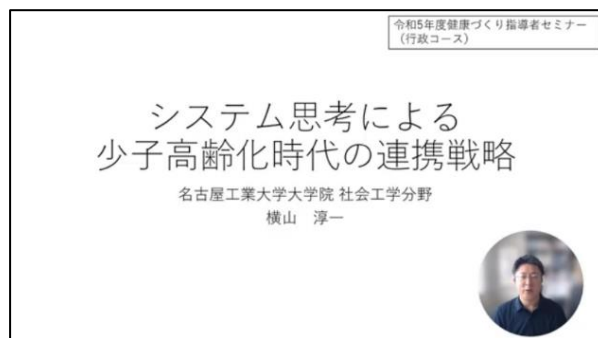
ポピュレーションアプローチの概念や種類、評価などについて、講義をしていただきました。ポピュレーションアプローチにおいて、健康に関心のある人のみが反応すると、健康格差の拡大につながる可能性があるため、ハイリスクアプローチの併用や対象ごとの効果的な取り組み、分野や組織を超えた連携などが重要であることを学ぶことができました。



### 講義「システム思考による少子高齢化時代の連携戦略」

名古屋工業大学大学院社会工学分野 教授 横山 淳一 氏

「システム思考」のエッセンスを踏まえ、業務や事業を効果的に進められる「連携」について、講義をしていただきました。システム思考について、コーヒーメーカーを例に説明いただき、具体的に理解することができました。連携は手段であり、目的ではないことから、「戦略」として、連携を活用することの重要性を再認識することができました。



### 事例紹介「令和4年度市町村等健康づくり技術支援事業

～高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業開始に向けて～

北名古屋市市民健康部国保医療課 保健師 多和田 智子 氏

令和4年度市町村等健康づくり技術支援事業での取り組みや成果について、一体的な実施の企画・調整を担う保健師の立場から、事例紹介をしていただきました。庁内・外関係部署との連携を通して、顔がみえる関係づくりを心掛けたことで、事業への協力につながっていることをお話いただきました。



本セミナーのテーマと関係があることから、愛知県保健医療局健康医務部健康対策課技師 中谷 圭甫 氏より、「愛知県からのお知らせ～次期健康増進計画について～」情報提供をしていただきました。本年9月に、第1回健康づくり推進協議会が開催され、開催1か月後頃に会議資料をWeb公開される予定であることなどを公表していただきました。

## 2. 申込状況・視聴回数について

【申込者数】135人

### 【所属別】

	市町村	保健所・県	その他
人数	120人	11人	4人
割合	88.9%	8.1%	3.0%

### 【職種別】

	保健師	管理栄養士 (栄養士含む)	事務職	看護師	理学療法士
人数	111人	10人	9人	4人	1人
割合	82.2%	7.4%	6.7%	3.0%	0.7%

【動画視聴回数】189回

## 3. アンケート結果について

【回収状況】78人（回収率57.8%）

### (1) 回答者について

#### 【所属別】

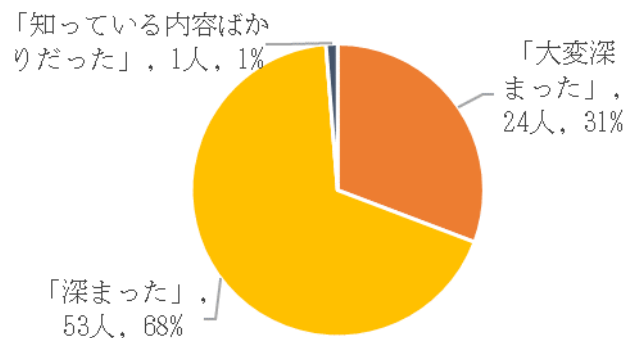
	市町村	保健所・県	その他
人数	67人	9人	2人
割合	89.6%	7.4%	3.0%

#### 【職種別】

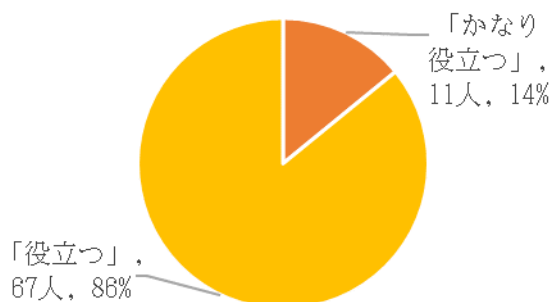
	保健師	管理栄養士	事務職	看護師	理学療法士
人数	69人	3人	2人	3人	1人
割合	88.5%	3.8%	2.6%	3.8%	1.3%

### (2) セミナー全体について

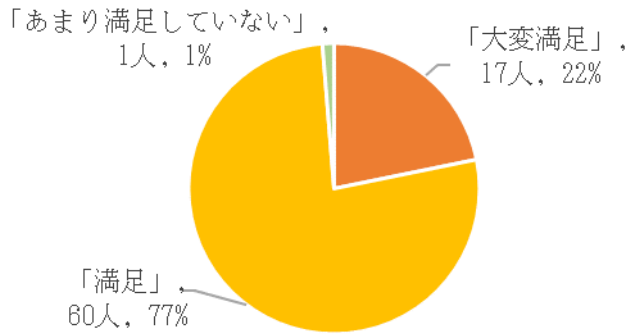
Q1. ポピュレーションアプローチや連携戦略についての知識が深まりましたか？



Q2. 今後の業務に役立ちますか？



### Q3. 満足度はいかがですか？



### (3) 今回のセミナーについて

Q4. 今回のセミナーを受講して、どのようなことから始めてみようと思いますか？

(自由記載、一部抜粋)

- ・ポピュレーションアプローチの評価については、効果が出るのに時間がかかるため、長期的な年次推移を整理しようと思いました。ライフコースアプローチの観点で学校や職域への健康教育が有効と学び、今後職域への健康教育が増加する見込みなので、自信を持って進めていきたいです。
- ・ポピュレーションアプローチの「セグメント化」が印象に残りました。担当地区の啓発を考えると参考にしたいです。
- ・意識の高い層のみが反応し、健康格差の拡大につながる恐れがあることを踏まえ、全ての人に支援をしつつも、その強度を変えて介入できるような事業の立案に取り組みたいと思いました。
- ・システム思考を学べたことで、今まで抽象的に理解していた部分が整理できました。連携をより効果的に行うために、今後活用していきたいです。
- ・当市においても、健康づくり計画と組織体制を同時に検討しています。地域特性を生かし、企業等と連携した取組む計画です。事業に流されて、機会的に仕事を遂行していますが、目的は何か等改めて考えてみようと思いました。評価することにより、スクラップアンドビルドができたらと感じました。
- ・組織間の連携のため、まずは目的の共通理解から始めていこうと思いました。どのような資料がわかりやすいか等悩んでいたため、その点も参考になりました。
- ・一体的実施の KDB 活用ワークシートは本市でも活用していますので、この情報を関係課や関係機関と共有していきたいと思いました。

Q5. 今回のセミナー全体に対して、ご感想やご意見がありましたら、ご記入ください。

(自由記載、一部抜粋)

- ・多角的な視野で健康増進事業を考えることができました。ポピュレーションアプローチによって、健康格差が広がることについて示唆されたことについては、永遠の課題と感じました。
- ・大変分かりやすい説明で、ポピュレーションアプローチなどについて、とても理解が深

まりました。当市においても、現在の事業や取組、地域を分析し、効果的な実施、体制となるよう努めていきたいと強く感じました。

- 行政ができることには限界があるため、民間などの様々なリソースを活用することの重要性は感じます。民間の事業も合わせた環境の評価や、そのアウトプットの経年的な評価方法なども具体的に理解できるとよいかと思いました。
- システム思考の講義が普段の業務でしている考え方とは全く違うために、実践するためのイメージすることが難しかったです。連携のためのシステムを構築することは必要だと思っているので、もう少し実践に近い形で落とし込めたらと思いました。
- 健康づくりの基本的な考えを振り返ることができました。また、他市の取り組みや県のあいち新計画の進捗状況がわかり有意義な研修でした。
- 県の健康増進計画の進捗状況がもう少し知りたいと思いました。
- あいち健康プラザの健康づくり技術支援事業の内容や、事業を実施していく中での連携等の考え方など、今後事業を行っていくにあたりとても参考になりました。
- YouTube での配信であること、受講期間が長いことにより、とても参加しやすく有難く思います。また、講義内容も概念から現場の報告まで幅広く勉強になりました。